



2015年10月

…いつだって、読書日和…

この言葉は、今年の『2015 全国秋の読書週間（10月27日～11月9日）』の標語です。

この標語の作者 賀澤氏は、

「たとえば晴れた日の太陽の下で、雨や曇りの日なら静かな室内で、考えてみればどんな季節や環境でも、本の世界に飛び込む瞬間が自分にとっての読書日和でした。…」と。

2年生が修学旅行から帰ってきたら、本校の秋の読書週間（11月27日～）が始まります。お楽しみに。

教育実習生の先生方のおすすめ本紹介コーナーです。

家康 その一言

～精神科医がその心の軌跡を辿る

南條幸弘・鈴木一記著（静岡県文化財団）

天下を手に入れた英雄として有名な家康が残した名言を、精神科医が考察し、その時の心理等が書かれています。特別な人間が発する言葉には、我々では思いつかないような発想があり、とても面白いです。



坂口先生

知りたい
考える

25・26・27HR
図書委員より紹介

夏の庭

湯本香樹実著（新潮文庫）

小学6年生のぼくは、友達2人と死んだら人はどうなるのかという疑問を抱き、あるおじいさんの元へ行きます。世代を越えたおじいさんと3人のおもしろく、感動的なストーリーです。ぜひ読んで下さい。



感動
ハマる

察知力

中村俊輔著（幻冬舎新書）

サッカー元日本代表中村俊輔選手が、世界で闘ってきたのには「察知力」があったから。どのようにしてその察知力を磨いたか、壁に当たってばかりだった中村選手の努力の日々の一冊です。きっと人生のヒントがあると思います。



チャレンジ
考える

尾田先生

金閣寺

三島由紀夫著（新潮文庫）

青年僧が国宝金閣寺を焼いた、という事件を元にしたフィクション。金閣寺を異常なまでに崇拝していた青年がどのようにして金閣寺を燃やすに至ったかを繊細な心理描写で記述している。



考える
感動

危険なアメリカ留学

松井道男著（第三書館）

この本はアメリカ留学の危険について書かれています。留学に行かない方がよいということではなく、行くのであれば知っておいた方がよいこともあるというものです。留学に興味のある方はぜひ読んでみて下さい。

鈴木先生



知りたい

The MANZAI 1

あさのあつこ著（ビジュアル文庫）

転校生の瀬田歩と明るい秋本貴史。対照的な二人の漫才から物語は始まる。学校生活、恋愛、青春、そして卒業。読者も物語に入り込み一緒に漫才を見ているかのような感覚。



ハマる
なごめ

10月の新着本紹介コーナー

書名	著者名	出版社
後藤さんを救えなかったか	西谷文和	第三書館
父が子に語る近現代史	小島毅	トランスビュー
武道館	朝井リョウ	文芸春秋
子どものまま中年化する若者たち	鍋田恭孝	幻冬舎
詩画とともに生きる	星野富弘	学研パブリッシング
犬がとなりにいるだけで	北川なつ	実業之日本社
英語教科書はく戦争をどう教えてきたか	江利川春雄	研究社
東海の大学力2016		朝日新聞出版
10分で読めるスポーツで夢をあてた人の伝記	塩谷京子監修	学研教育出版
タブレットがまるごとわかる本		普遊舎
まるごとわかる江戸三百藩		英和出版社
NHK連続テレビ小説まれお菓子レシピブック		NHK出版
10代スポーツ選手のケガ予防と回復食		大泉書店
高校野球弱者の発想		日刊スポーツ出版社
大人の気づかひができる人の話し方	福田健	三笠書房
昭和史の10大事件	半藤一利・宮部みゆき	東京書籍
検証・安保法案 どこが憲法違反か	長谷部恭男	有斐閣
集団的自衛権はなぜ違憲なのか	木村草太	晶文社
世界で一番美しい分子図鑑	セオドア・グレイ	創文社
長谷部誠 熱きキャプテン	本郷陽二	汐文社

書名	著者名	出版社
虚空の旅人	上橋菜穂子	偕成社
天と地の守り人 1巻～3巻	上橋菜穂子	偕成社
考える訓練	伊藤真	サンマーク出版
あっ！命の授業	ゴルゴ松本	廣済堂出版
老後破産 一長寿という悪夢	NHKスペシャル取材班	新潮社
ラプラスの魔女	東野圭吾	KADOKAWA
禁断の魔術	東野圭吾	文春文庫
不可能を可能に - 点字の世界を駆けぬげる	田中徹二	岩波新書
そっと耳を澄ませば	三宮麻由子	集英社文庫
チロルチョコで動いています	伊東フミ	KADOKAWA
卑弥呼のサラダ水戸黄門のラーメン	加来宏三	ポプラ社
地震の基本		榎出版社
日本の論点 2015-16	大前 研一	プレジデント社
翔ぶ少女	原田 マハ	ポプラ社
1%の力	鎌田 實	河出書房新社
挫折を愛する	松岡 修造	角川書店
わたしは目で話します	たかおまゆみ	偕成社
やらなきゃゼロ!	鈴木 直道	岩波書店
20歳からの人生の考え方	外山 滋比古	海竜社
花のベッドでひるねして	よしもとばなな	毎日新聞社